令和４年度第１回厚木市健康食育推進協議会（書面会議）

（１）会長及び副会長の選出について

事務局案に対して　　異議なし　14

異議あり　　0

（２）第３次健康食育あつぎプラン令和３年度事業結果及び令和４年度事業計画について

意見
県は、国の次期健康づくりプランと時期を同じくして計画策定を進めており、市町村の健康増進計画は、都道府県の健康増進計画を勘案して定めるよう努めるもの、と規定されている。令和６年度から開始となる国及び県の次期計画にあわせて健康食育あつぎプランも修正・見直しを行い、共通の理念を持って健康づくり政策を推進するよう提案します。
回答
健康食育あつぎプランは、「期間中に状況の変化などが生じた場合には、必要に応じて見直すこと」としております。国及び県の次期計画の内容が明らかになり次第、見直しの検討について健康食育推進協議会でご審議いただきたいと考えております。

意見
新型コロナウイルスの影響で、実施できない事業が多い状況ですが、計画の修正は行いませんか。
回答
計画の策定時には、感染症の拡大・流行の影響下にあることは想定しておらず、事業や施策の推進が順調に行えていないことは大きな課題でありますが、本計画は令和８年度に向けて継続的な取組を行い、基本目標や基本方針の実現を目指すものであり、目標とする指標や目標値の修正は、現在のところ行わない方針です。 なお、「新しい生活様式」の普及に伴い、市民の健康に対する意識や食生活への影響も予想されますが、次期計画に向けての基礎調査で変化の把握に努め、必要な取組が行えるよう研究してまいります。

意見
冊子 P13「テレビやビデオを見る時間」について、スマートフォンやゲーム、PC の時間も含めると、数値は変化するのではないか。このスクリーンタイムが子どもたちの運動習慣や良質な睡眠時間を奪っていると感じることが多くある。
回答
一定の周期で同じアンケートを実施して、状況の移り変わりを捉えようとしているものですが、環境の変化に合わせて基礎調査の内容も見直す必要があると考えております。

意見
令和４年度も新型コロナウイルスの影響が大きいと予想されます。食関連の講座や教室などは、従来の方法での開催が難しい状況かと思いますが、新しい方式での実施計画はありますか。
回答
従来行っている事業については、新型コロナウイルス感染症拡大前と同じ事業を実施予定となっております。 しかし、感染症拡大前と比べ、募集人数を減らしたり、調理実習においても少人数でのグループ（３～４人）にする等、講座内で「密」にならないよう配慮しています。また、試食を行う際は黙食の徹底を行っております。

意見
認知症関連の事業を多く展開することが必要だと思う。
回答
認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を地域で見守り支える応援者である認知症サポーターの養成講座は、令和３年度は当初の目標の５倍を超える人数の参加がありました。 また、本計画と連携している「厚木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」では、10 の施策の方向（取組分野）のうちの１つを「認知症施策「共生と予防」の推進」と定め、さまざまな事業を行っています。

意見
新型コロナウイルスの影響により事業が実施できなかったのは仕方がないと思う。令和４年度は感染対策を行いつつ、令和３年度よりも実施できる事業および回数が増えれば良いと思う。

意見
がん検診の受診率が思ったより高かったので、良かったと思う。

２　今後協議会で取り上げたいテーマや事業について

意見
・with コロナと感染拡大時の対応について考えていく必要があるのではと思います。 ・休養、こころの健康について